



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年11月9日

上場会社名 オリエンタルチエン工業株式会社
コード番号 6380 URL <https://www.ocm.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 076-276-1155
2023年12月8日

(氏名) 西村 武
(氏名) 金谷 武志
配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,012	2.8	107	24.1	127	10.9	87	18.8
2023年3月期第2四半期	1,957	24.0	87	302.5	115	452.1	73	586.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	63.30	
2023年3月期第2四半期	53.28	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	4,359	1,663	38.2	1,200.10
2023年3月期	4,229	1,552	36.7	1,119.81

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 1,663百万円 2023年3月期 1,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		20.00	20.00
2024年3月期		15.00			
2024年3月期(予想)				15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,944	1.0	189	62.8	209	46.5	140	50.1	101.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	1,467,233 株	2023年3月期	1,467,233 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	81,229 株	2023年3月期	81,158 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	1,386,014 株	2023年3月期2Q	1,386,225 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に引き下げられ、国内外において経済活動の抑制が緩和される中、企業の生産活動や設備投資には持直しの動きが見られました。一方、ウクライナ情勢を背景とした資源価格の高騰、多岐におよぶ物価の高騰、為替市場での急速な円安進行、新たな変異株の感染による感染再拡大のリスク等、景気に悪影響を及ぼす様々な要因があり、先行きは依然として不透明な状況が継続すると見込まれます。

このような状況下にあつて当社は、市場の多様なニーズへの対応力を高め、受注拡大に向けての製品の差別化を行い、お客様の要望に沿った特殊品分野への営業活動を強化しており、また、コスト削減を継続し、特に工場の人的生産性を高める取り組みを強化しております。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は2,012百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益107百万円（前年同四半期比24.1%増）、経常利益127百万円（前年同四半期比10.9%増）、四半期純利益87百万円（前年同四半期比18.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①チェーン事業

国内では、工作機械業界向け等一部に減少がみられましたが、当社の主力である搬送機械業界向けが大きく増加しました。一方、輸出においては、前年好調であった北米向けが大きく減少しました。これらの結果、売上高は1,881百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益は176百万円（前年同四半期比20.4%増）となりました。

②金属射出成形事業

医療機器分野を中心に受注拡大を図る営業活動を行っておりますが、自動車業界向けのスポット受注がなくなりました。その結果、売上高は112百万円（前年同四半期比6.5%減）、営業利益は21百万円（前年同四半期比20.0%減）となりました。

③賃貸不動産事業

賃貸不動産事業につきましては、売上高は18百万円（前年同四半期比213.7%増）、営業利益は12百万円（前年同四半期は営業損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、4,359百万円で、前期末に比べて130百万円増加しました。これは、前期末と比べ、現金及び預金、棚卸資産等が減少し、受取手形、売掛金及び契約資産等が増加したことを主要因として、流動資産が2,573百万円と85百万円増加、また、固定資産が1,785百万円と44百万円増加（投資有価証券が49百万円増加）したことによるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、2,696百万円で、前期末に比べて18百万円増加しました。これは、前期末と比べ、短期借入金等の減少を主要因として、流動負債が1,395百万円と80百万円減少したこと（買掛金が30百万円増加、短期借入金が125百万円減少）、また、固定負債が1,301百万円と99百万円増加（長期借入金115百万円増加、退職給付引当金が15百万円減少）したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、1,663百万円で、前期末と比べ111百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は前期末の36.7%から当第2四半期会計期間末は38.2%になりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ21百万円減少し、229百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得た資金は129百万円（前年同四半期は133百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純利益123百万円、減価償却費94百万円、売上債権の増加139百万円、仕入債務の増加33百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は115百万円（前年同四半期は172百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出112百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は35百万円（前年同四半期は35百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入による収入300百万円、短期借入金の返済160百万円、長期借入金の返済による支出150百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期第2四半期累計期間の業績につきましては、2023年5月11日に公表いたしました業績予想との間に差異が生じております。また、2024年3月期通期の業績予想につきましては、2023年5月11日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表の「第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	300,260	279,002
受取手形、売掛金及び契約資産	1,195,549	1,334,817
商品及び製品	196,139	183,522
仕掛品	433,302	444,431
原材料及び貯蔵品	348,573	314,367
その他	14,452	18,062
貸倒引当金	△300	△340
流動資産合計	2,487,978	2,573,863
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	389,258	387,507
機械及び装置（純額）	519,120	534,392
土地	339,490	339,490
建設仮勘定	17,197	10,782
その他（純額）	73,303	60,750
有形固定資産合計	1,338,371	1,332,923
無形固定資産		
投資その他の資産	80,767	82,764
投資有価証券	95,248	144,863
その他	227,343	225,949
貸倒引当金	—	△506
投資その他の資産合計	322,592	370,306
固定資産合計	1,741,730	1,785,994
資産合計	4,229,709	4,359,858

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	531,051	534,121
買掛金	187,480	217,530
短期借入金	489,921	364,248
未払法人税等	31,373	41,928
契約負債	19,083	6,558
賞与引当金	48,093	57,761
その他	168,821	172,978
流動負債合計	1,475,825	1,395,126
固定負債		
長期借入金	866,100	981,730
退職給付引当金	289,280	273,305
役員退職慰労引当金	27,890	27,890
その他	18,467	18,467
固定負債合計	1,201,738	1,301,393
負債合計	2,677,564	2,696,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,066,950	1,066,950
資本剰余金	168,230	168,230
利益剰余金	359,020	419,027
自己株式	△50,569	△50,647
株主資本合計	1,543,630	1,603,560
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,514	59,778
評価・換算差額等合計	8,514	59,778
純資産合計	1,552,144	1,663,339
負債純資産合計	4,229,709	4,359,858

(2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,957,454	2,012,714
売上原価	1,610,722	1,619,096
売上総利益	346,732	393,617
販売費及び一般管理費	259,698	285,628
営業利益	87,034	107,989
営業外収益		
受取利息	10	3
受取配当金	3,099	3,313
為替差益	21,815	12,374
その他	8,127	9,566
営業外収益合計	33,053	25,258
営業外費用		
支払利息	4,163	4,671
その他	607	656
営業外費用合計	4,770	5,327
経常利益	115,317	127,919
特別利益		
固定資産売却益	149	—
特別利益合計	149	—
特別損失		
固定資産廃棄損	1	0
投資有価証券評価損	4,519	4,663
特別損失合計	4,520	4,663
税引前四半期純利益	110,946	123,255
法人税、住民税及び事業税	36,440	34,290
法人税等調整額	653	1,236
法人税等合計	37,093	35,526
四半期純利益	73,853	87,729

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	110,946	123,255
減価償却費	88,791	94,990
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20	546
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,554	9,667
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△16,774	△15,975
受取利息及び受取配当金	△3,110	△3,317
支払利息	4,163	4,671
為替差損益 (△は益)	△2,699	△360
固定資産売却益	△149	—
固定資産廃棄損	1	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,519	4,663
売上債権の増減額 (△は増加)	△78,931	△139,267
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△104,753	35,694
仕入債務の増減額 (△は減少)	150,227	33,119
未払消費税等の増減額 (△は減少)	11,162	19,018
その他	342	△12,366
小計	176,308	154,341
利息及び配当金の受取額	3,110	3,317
利息の支払額	△4,174	△4,690
法人税等の支払額	△41,902	△23,670
営業活動によるキャッシュ・フロー	133,341	129,297
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△160,546	△112,725
有形固定資産の売却による収入	149	—
無形固定資産の取得による支出	△112	△4,810
投資有価証券の取得による支出	△781	△780
貸付けによる支出	△600	—
貸付金の回収による収入	440	160
定期預金の預入による支出	△50,000	△50,000
定期預金の払戻による収入	50,000	50,000
預り保証金の返還による支出	△18,467	—
その他	7,027	2,894
投資活動によるキャッシュ・フロー	△172,891	△115,260
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,000	△160,000
長期借入れによる収入	500,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△525,300	△150,043
自己株式の取得による支出	△93	△78
配当金の支払額	—	△25,535
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,393	△35,656
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,699	360
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△72,244	△21,258
現金及び現金同等物の期首残高	339,452	250,260
現金及び現金同等物の四半期末残高	267,208	229,002

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,830,838	120,655	5,960	1,957,454	—	1,957,454
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,830,838	120,655	5,960	1,957,454	—	1,957,454
セグメント利益又は損失 (△)	147,047	27,153	△1,370	172,830	△85,796	87,034

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,881,238	112,776	18,699	2,012,714	—	2,012,714
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,881,238	112,776	18,699	2,012,714	—	2,012,714
セグメント利益	176,991	21,730	12,307	211,029	△103,040	107,989

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。